

協働通信

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター
▽開催時間
火～日(祝日除)9時～17時
▽問合せ先
TEL (43)13221 FAX (43)13322

地域のお知らせ

令和4年度7地区の協働のまちづくり推進会の活動報告をします。

◆東桂地域

- 放課後子ども教室 桂子ども教室の開催
- 登下校の子どもたちの安全を守る活動
- 環境美化保全活動
- 地域環境保全活動 おなん淵の清掃

◆宝地域

- 健康ウォーキングの開催
- 七里まつり開催
- 宝地域防災計画策定(災害時における非常持ち出しの展示)
- 児童の登下校の見守りや地域における防犯活動
- 花苗の植え付け作業、啓蒙品の配布

◆谷村地域

- つる湧水の里ランフェスへ参加
- 市立図書館と共同企画・午後の名画鑑賞会の開催
- 癒しの歌声芳晴コンサート開催
- 谷村地域11カ所に花苗の植栽を実施
- お茶壺道中へ5名参加協力

◆盛里地域

- 歩け歩け大会三吉地域の参加
- 登下校の見守り児童の安全確保の実施
- 放課後子ども居場所づくり実施
- 防犯に関する通知を全戸に配布

◆三吉地域

- 環境保全市民活動事業の参加協力
- 市民歩け歩け大会の実施
- 地域に花を植えよう
- 玉川公園ミニ公園清掃活動
- グラウンドゴルフ教室の開催

◆禾生地域

- 歩け歩け大会三吉地区の参加
- つる湧水の里ランフェスの参加
- 禾一小、禾二小児童の登下校の見守り
- あいさつ声掛け運動及び「あいさつ」標語の募集
- 文化展の開催

◆開地地域

- 高齢者福祉活動の支援と健康づくりの推進の実施
- 健康トレーニング開催
- 環境美化に関する啓発活動、除草作業と花苗の植栽



セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第59号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

6対策委員会の活動報告が行われました！

2月24日に、第8回都留市セーフコミュニティ推進協議会が行われ、6つの対策委員会が今年度の活動報告を行いました。サーベイランス委員会委員、協議会委員の方々から、たくさんの質問や意見があがる活発な会議となり、各対策委員会とも次年度以降もより力動的な活動を予定されている様子が見られました。





4年ぶりに！第24回「交通安全パレード」が行われます！

第24回交通安全パレードに、SC交通安全対策委員会が初めて参加します！交通安全パレードでは、都留文科大学周辺を中心に多数の団体が、春の全国交通安全運動に伴い交通安全を呼びかけて行進します。

開催日時

5月13日（土）

10時30分～11時 出発式（都留文科大学 本部棟広場前）

11時30分～12時 到着式（都留興譲館高校 校舎前広場）

※パレード進行の影響により出発到着時間が前後します。



※片側通行止め（移動規制）

市道大学通り線～市道天神通り線～
国道139号バイパス（天神通り）

※雨天の際は状況判断し、当日朝に防災無線にて開催状況をお知らせします。

※周辺地域の皆さまには、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

75歳いきいき心体測定会を実施します！

問合せ先 長寿介護課 包括支援担当

本市では健康寿命の延伸につなげるため、75歳になる方を対象に足腰の強さ・認知機能・栄養状態などを測定し、健康度を確認する「75歳いきいき心体測定会」を実施しています。対象の方には通知をお送りしますので、ぜひご参加ください。

また、検査だけでなく、健康に関するアドバイスや情報もお伝えしています。これまでに100名以上の方が参加され、日々の生活に活かされています。

対象者

75歳になる方（誕生月の前月に通知を発送しています）

内容

- 身体測定（身長・体重・血圧など）
- 体力測定（握力・歩行・バランスなど）
- 認知機能検査

参加者の声

「もの忘れが気になり受けてみた。自分の得意不得意を客観的に知ることができた！」

「自分の弱いところを知ること、日ごろの生活動作を気を付けるようになった」

「脳トレのような検査だったので取り組みやすかった」

体力測定 結果票の見方

体力測定 結果票		判定	占率
項目	結果	判定	占率
握力	28.5	優れている	28.0以上
歩行	23.5	標準的	23.0～27.0
バランス	18.5	普通	16.0～22.0
総合	18.5	落している	16.0未満



セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第61号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

第19回都留市ボランティアまつりに出展しました！

4月29日に開催された第19回都留市ボランティアまつりに、セーフコミュニティのブースとして出展しました！交通安全対策委員会、防犯対策委員会、高齢者の安全対策委員会、心の健康対策委員会など各対策委員会が意識調査や啓発活動を行いました。

調査結果などは、今後の対策委員会活動に活用していきます！ご協力いただきありがとうございました！



SDGsでつくる私たちの未来

～持続可能なまちづくり～ 第3号

問合せ先 企画課 企画担当

2 飢餓をゼロに



目標2 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

すべての人が、栄養のある十分な食事がとれるようにすることを目指し、環境を守りながら、災害時においても持続可能な食料生産体制を構築していくことも求められています。

世界や日本で起きている問題

日常的に空腹で苦しむ人が、世界に約8億人(9人に1人)いると言われます。栄養が偏り、命を落とす子どももたくさんいます。

一方で先進国では、食べ物を大量に廃棄しており、日本では年間約600万トンもの食品ロスがあると推計されています。



目指すべき将来のすがた

- すべての人が安全で栄養のある食事を食べられるようにする。
- 食事がなくて困っている人たちの栄養改善をする。
- 気候変動(干ばつ、洪水などの災害)に強い農業を実践する。

市民が身近で簡単にできること

- 家庭菜園で作った野菜や、地元の農家が栽培した野菜を食べよう
- 食べきれない量を考えて買い物をしよう
- 賞味期限が近いものから購入しよう(てまえどり)
- 家庭で使いきれない食料品をフードバンクなどの団体に寄付しよう



市内で行われている実践活動

- フードバンク山梨
各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、福祉施設や団体などへ寄贈する活動
- 子ども食堂
つる食堂、YOUR HOUSE ～きみのいえ
- 歳末助け合い運動
- 放課後子ども教室による農業体験
- 地元の農家が栽培した野菜の販売道の駅つるなど





リズムオブラブの安全教育

5月25日に都留文科大学附属小学校の1年生親子を、6月1日に禾生第二小学校の1年生と2年生を対象に、リズムオブラブ主宰渡辺光美先生による「健康・安全・郷育プログラム」を行いました。また、あわせて山梨県警察の方々からは子どもたちに身を守るための貴重なお話をさせていただきました。

このプログラムは、防犯対策委員会における重点課題の1つである「子どもたちの防犯意識向上」を目的とした活動であり、安全教育を推進し、子どもたちの危険察知回避能力を高め、不審者被害などの犯罪被害にあわないように予防することを目的としています。

子どもたちが安全・安心な暮らしができるように、自分自身の心と体を守るための実践的な学びの機会となり、命の大切さを知ってもらえるよう活動していきます。



▲親子でプログラムに参加
(都留文科大学附属小学校)



▲「いかのおすし」体操
(禾生第二小学校)



▲山梨県警察のお話
(禾生第二小学校)

詐欺を未然に防ぎましょう！

◆都留市特殊詐欺被害防止対策機器設置費補助金

対象者

市内在住の満65歳以上の方、または同一世帯に満65歳以上の世帯員がいる方

対象となる機器

市内の事業所で購入した以下の機器

- ①通話内容を自動的に録音する機能がついている電話機
- ②電話機に接続する機器で、録音機能や詐欺の可能性のある電話を自動的に切ってくれる機能があるもの

補助内容

購入費の4分の3を補助(限度額2万円)

問合せ先 市民課 市民相談窓口担当



補助金を利用して固定電話の購入や買い替えを考えている方は、ご相談ください。補助金の詳細は市HPをご覧ください。



◆ナンバー・ディスプレイおよびナンバー・リクエストの高齢者無償化

対象

70歳以上の契約者、または70歳以上の方と同居している契約者の回線

補助内容

ナンバー・ディスプレイとナンバー・リクエストの月額利用料、工事費を無償化

※申請は随時受け付けています。

申請や詳細については、お問い合わせください。

問合せ先 NTT東日本 特殊詐欺対策ダイヤル ☎0120(722)455



「安全・安心フォーラムつる 2023」を開催します！

世界基準の安全・安心なまちづくり「セーフコミュニティ」の国際認証を2021年8月に取得したことを記念し、毎年本市のセーフコミュニティの取り組みについて皆さんに周知する「安全・安心フォーラムつる」を開催しています。対策委員の日頃の活動を発表しますので、ぜひご参加ください！



日時 8月12日(土)
13時30分～17時(受付13時～)

会場 まちづくり交流センター

内容 オープニングセレモニー
(都留文科大学管弦楽団)
第1部 基調講演
第2部 対策委員会からの取組報告
※事前の申込は不要です。

心の健康対策委員会 「パートナーシップ企業」に登録しませんか？

対象 市内に事業所がある企業、法人、団体など

- 要件**
- ①ゲートキーパー養成講座を開催または受講している(しようとしている)企業
 - ②ストレスチェックなどを実施し、職場環境を改善している(いこうとする)企業
 - ③県や市が実施する事業に参加している(しようとしている)企業
 - ④心の健康を維持する各種取組みを実施している(しようとしている)企業



※登録用紙は健康子育て課(心の健康対策委員会事務局)【☎(46)5113】にありますので、お気軽にお問い合わせください。

夏の感染症にご注意を！

問合せ先 健康子育て課 健康づくり担当

乳幼児を中心に流行するプール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などの感染症に注意が必要です。夏はキャンプやバーベキュー、夏祭りなど、お子さんと外出する機会が増える季節であり、高温多湿の気候で体力を消耗しやすい時期です。感染症にご注意ください。



これからの時期に気を付けたい子どもの感染症

	プール熱(咽頭結膜熱)	ヘルパンギーナ	手足口病
症状	○発熱(39度台) ○目の症状(充血、眼痛、目やになど) ○のどが真っ赤になる	○突然の発熱(38度台) ○のどの奥に水疱ができる	○発熱(38度前後) ○口内炎 ○手足の発疹
流行時期	7～9月	6～8月	5～9月
潜伏期間	5～7日間	2～7日間	2～7日間
感染経路	咳やくしゃみなどによる飛沫または接触感染(夏はプール)	経口感染(よだれ、便に接触した手から)	経口感染(よだれ、便に接触した手から)

感染を防ぐために…

- 石けんでよく手を洗い、手指消毒をしっかりとしましょう。
- 他人とタオルは共有せず、洗濯物は日光でよく乾かしましょう。
- 夏休みやお盆の帰省などで高齢者の方と会う場合、大人数で集まる場合には、感染予防を心がけ、体調を整えるようにしましょう。
- 通院や高齢者施設を訪問するとき、咳などの症状がある場合には、感染対策としてマスクの着用が効果的です。





「サンクスハンド」を使ってみましょう！

交通安全対策委員会では、横断歩道で運転手に「渡りたい」という意思を伝えるためのオリジナルのハンドサイン「サンクスハンド」を考案し、広めるための活動を行っています。

手を挙げるのが難しいご高齢の方でもできる意思表示手段ですので、是非ご家族などにも教えてあげてください。

横断歩道調査における効果検証！

当委員会では、横断歩道で「渡りたい」と意思を伝えることがどれくらい大切なのか調査を行いました。

◆歩行者が横断待機中に停止した台数



ただ立っていた場合



サンクスハンドを使った場合



横断歩道を渡る意思を伝える
「サンクスハンド」



- ①手をグーにしながら、肩の位置まで持ってくる
- ②肩の位置まで持ってきた手をパーに開きながら、前に出す

横断歩道に人がいる時、運転手は一時停止をするのがルールですが、歩行者側も「渡りたい」という意思表示をすることで、運転手と歩行者の双方が気持ちの良い通行につながります。

朝ごはんを食べて規則正しい生活を！

問合せ先 健康子育て課 健康づくり担当

朝ごはんは1日の活動源となる大切な食事です

第4次やまなし食育推進計画の2022年度の進捗状況によると、朝食を抜くことが週3回以上ある若者（20～39歳）の割合は25.5%と多いという結果が出ています。

朝ごはんを食べないと、脳の働きが悪くなる、肥満になりやすくなる、便秘になりやすくなるなど、身体に悪影響を及ぼします。規則正しい生活習慣を身に付け、生活習慣病予防のためにも、まずは朝ごはんを食べるところから始めましょう。



朝ごはんを習慣づけるための3ステップ 朝ごはんはホップ！ステップ！ジャンプ！

ホップ！

まずは朝ごはんを食べる習慣をつけましょう。何か少しでも食べるところから始めましょう。



ステップ！

少し時間に余裕のある人、食欲が出てきた人、朝ごはんを食べる習慣ができてきた人は、もう1品加えてみましょう！



ジャンプ！

時間がある人、食欲がある人、朝ごはんを食べる習慣ができた人は、栄養バランスを考えた朝ごはんを食べましょう！





セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第65号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

「安全・安心フォーラムつる 2023」が開催されました！

8月12日に「安全・安心フォーラムつる 2023」が開催されました。今回は、3回目にして初の対面形式で開催することができました。当日の様子を市HPで動画を公開していますので、ぜひご覧ください！



▲市HP



都留文科大学管弦楽団による
オープニングセレモニー



誕生学アドバイザーである
海野聖子氏による基調講演



6つの対策委員会による
活動発表

10月はピンクリボン月間です！

問合せ先 健康子育て課 健康づくり担当

ピンクリボンとは…

乳がんの正しい知識を広め、早期発見の重要性を呼びかけるシンボルです。

10月をピンクリボン月間とし、乳がんの早期発見や診断、治療を推進することを目的として世界規模で活動しています。

乳がんの早期発見を！

現在、乳がんにかかる女性は増加傾向にあり、一生のうちに約9人に1人が乳がんにかかると言われていています。本市で実施している乳がん検診を受診し、精密検査が必要となる方は例年50人前後で、その中でがんと分かる方は1～2人います。

乳がんは、早期発見・早期治療ができれば、治りやすいがんとも言われています。定期的に検診を受け、早期発見することが大切です！



乳がん検診について

対象者

今年度40歳以上の女性

個人負担金

○40歳代 : 1,550円(41歳は無料)

○50～69歳 : 1,150円

○70歳以上 : 600円

※乳がん検診は、2年に1回受診できます。前年度に受診した方は今年度は受けられません。気になる症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。

◆都留市立病院での乳がん検診の受診方法

日程

10月13日(金)、25日(水)、11月13日(月)、
12月13日(水)

※この日程以外については、電話にてお問い合わせください。

内容

問診、マンモグラフィ※視触診はありません

申込

電話もしくはLINE予約



◀LINE予約はこちら



防犯対策委員会の活動を報告します！

地域安全安心フェスタ by 大月警察署

10月14日、大月警察署主催による「地域安全安心フェスタ by 大月警察署」が開催されました。SCから防犯対策委員会が参加し、啓発物品を配付しました。



リズムオブラブの安全教育 ～谷村第二小学校～

10月19日、2年生親子を対象としたリズムオブラブ主宰渡辺光美先生の「健康・安全・郷育プログラム」を行いました。36名の親子が参加し、体を動かし、命の大切さを学ぶことのできる貴重な機会になりました。



交通安全対策委員会で反射材啓発活動を行います！



日程 11月9日(木)

第1部「反射材の配布・着用呼びかけ」

時間 18時～18時20分(予定)

場所 都留文科大学 駐車場(旧合同庁舎駐車場)

第2部「反射材普及啓発パレード(行進)」

時間 18時20分～19時(予定)

場所 文大通り～ウエルシア都留店の間の歩道

11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」月間です！

問合せ先 健康子育て課 子ども家庭担当

『あなたしか 気づいてないかも そのサイン』

(令和5年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」最優秀標語)



オレンジリボン運動とは…

子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。子どもの虐待の現状を伝え、多くの方が子ども虐待の問題に関心を持ち、虐待のない社会を築くことを目指しています。

防ごう！マルトリートメント(マルトリ)

虐待だけでなく、大人から子どもに対する避けたい関わりすべてを「マルトリートメント(マルトリ)」と言います。マルトリートメントを受けると、生涯にわたって心の不調を抱えやすく、生活の質を脅かすさまざまなリスクが高まります。

主な児童虐待

身体的マルトリ(体罰)
○叩く ○罰として長時間正座をさせる
ネグレクト
○子どもに食事や教育を与えない ○子ども一人で留守番させる
心理的マルトリ
○他の子と比べる ○言葉の暴力 ○子どもに夫婦喧嘩を見聞かせる
性的マルトリ
○嫌がる子どもと風呂に入る ○親が全裸で部屋をウロウロする

子どもの相談窓口

親と子の安全対策委員会からのお知らせ

困ったことがあったら相談してね！

児童相談所虐待対応ダイヤル

☎189 いちはやく

※通話料無料

受付時間：いつでも可能

都留市子育てほっとステーション

こども相談ダイヤル ☎(46)5113

受付時間：平日8時30分～17時15分

親子のための相談LINE

受付時間：平日12時～22時





各対策委員会の活動を報告します！

産業まつりでの啓発活動

10月29日、谷村第一小学校グラウンドで開催された産業まつりにてセーフコミュニティ啓発ブースを設置し、各種啓発活動やアンケート調査を行いました。



反射材パレード（交通安全対策委員会）

11月9日、大月警察署にご協力いただき、都留文科大学からウエルシア都留店間の歩道にて、反射材を身につけながら行進し、反射材着用をPRする「反射材パレード」を開催しました。

パレード前には、都留文科大学6号館前にて、つるビーと一緒に授業終わりの大学生に向けて、反射材の啓発活動・配布も行いました。



高齢者生活状況調査を実施します！

問合せ先 長寿介護課 包括支援担当

市は、埼玉県立大学をはじめとした研究機関の協力を得て、現在の健康状態や生活状況などについて調査を実施します。

この調査は、皆さまがいつまでも元気ではつらつと暮らすために、どのような施策を行うかなどの参考となる重要な調査です。お手元に調査票が届きましたら、ご回答にご協力をお願いします。ご協力いただいた方には、結果と一緒にご自身の健康状況にあったアドバイスを後日郵送します。

令和3年度調査結果の例



これまでの調査でわかったこと

高齢者生活状況調査は、これまで平成28年から2年に1度（これまでに4回）実施してきました。この調査によって、他の市町村と比較した本市の高齢者の特徴として、「膝が痛い人が多い」、「うつ傾向にある人が多い」ことなどが分かりました。また、「いーばしょ」参加者は不参加者に比べて、加齢に伴うフレイルのリスクを抑えることや、社会参加に認知症予防の効果があることが分かりました。

このような結果を踏まえ、膝が痛くても運動できる「楽ひざ体操」の開発や、身近な場所で高齢者が集う「いーばしょ」づくりに取り組んでいます。



各対策委員会の活動を報告します！

交通安全講座(交通安全対策委員会)

11月28日、交通安全講座を実施しました。データを使って本市で発生している交通事故の現状についてお話ししたほか、交通事故にあわないために自分でできる対策として、車を運転する時に注意することや反射材を着用する効果などについてもお話ししました。



コミュニティカフェ(防犯対策委員会)

11月14日～16日の3日間、都留文科大学でコミュニティカフェの活動を行いました。

コミュニティカフェの活動では、学生が生活する中で犯罪に巻き込まれたことがないか、悩んでいることがないか、お話を聞きました。今後も学生を対象とした活動を続けていく中で、学生が孤立することなく、安心して暮らせるようなまちづくりを進めていきます。



啓発物品の配布(親と子の安全対策委員会)

子どもの権利と子どもの相談窓口を周知するために、定規とチラシを作成し、市内の小中学生に配布しました。

子どもたちが、児童虐待などにより権利を侵害されることなく、安全・安心な環境の中で健やかに成長できることを目指し、今後も活動していきたいと考えています。



自宅でできる運動を紹介します！

問合せ先 健康子育て課 健康づくり担当

寒くなると、指先や足などの末梢にまで血液を届ける血管が収縮し、血流が低下しやすくなります。血流が低下すると、身体に十分な酸素や栄養分が送られなくなり、むくみや冷えが起こりやすくなります。

血行促進！自宅でチャレンジしてみましょう！

冬に身体を動かすことは基礎代謝を高め、エネルギーを消費しやすい身体を作ることに役立ちます。無理のなく継続して行うことが効果的ですので、皆さんもぜひチャレンジしてみてください！

①スクワット

足を肩幅に開き、両腕を前に伸ばし背筋を伸ばす。つま先より先に膝が出ないように膝を曲げ、その状態を1秒程度キープしゆっくり元の状態に戻る。



②プランク

うつぶせの状態から両肘をつき、足を伸ばす。体が一直線になるよう、つま先でその状態をまずは30秒、慣れてきたら1分を目指してキープしましょう。



③ラジオ体操や好きな音楽に合わせて体を動かす

ラジオ体操は関節や筋肉を効率よく動かすことができます。好きな音楽や動画に合わせて踊ったりストレッチすることでも楽しく身体を動かすことができます。





福島県郡山市 訪問視察

1月18日、SC認証市である福島県郡山市から本市のセーフコミュニティの活動を視察するため職員が来市し、各対策委員会の委員と情報交換をしたほか、交通安全対策委員会と防犯対策委員会の会議の様子を見学しました。

「安全・安心なまち」を目指すSC認証市同士、これからもこのような交流を通じて、セーフコミュニティを推進していきます。



セーフコミュニティ対策委員会の委員を募集します！

本市では、安全・安心なまちづくりに向けて、平成30年度から「セーフコミュニティ」に取り組んでおり、事故やけがの予防プログラムの中心として、6つの分野別対策委員会が活動を進めています。

安全・安心のための取り組みに関心がある方、対策委員会の分野に興味のある方は、ぜひご応募ください。

委員会	活動
防災・減災対策委員会	家庭や地域での防災・減災対策の推進、防災組織・情報伝達の強化
交通安全対策委員会	交通規則遵守を徹底する意識の向上、事故防止対策の推進
防犯対策委員会	犯罪に対する正しい知識の周知、家庭・地域での防犯対策の推進
高齢者の安全対策委員会	けがを防止する健康な体づくり、住環境の整備・社会参加の推進
親と子の安全対策委員会	子どもの事故・けがの減少、子育ての悩みを相談できる場の充実、虐待防止
心の健康対策委員会	心の健康に対する正しい知識の周知、学生・働き世代の自殺防止

募集人員 各委員会若干名

報酬など 無報酬

申込方法

公募申込書に必要事項を記入し、郵送、Eメール、FAXのいずれかの方法により提出してください。(申込書は、市HPからもダウンロードできます。)

申込書を審査し、選考いたします。

申込締切 3月15日(金)

申込・問合せ先 地域環境課 地域振興担当

Eメール: chiikishinkou@city.tsuru.lg.jp

冬の感染症対策のポイント

問合せ先 健康子育て課 健康づくり担当

空気が乾燥し、気温の低くなるこの時期は、インフルエンザやRSウイルスなどの呼吸器感染症と、ノロウイルス、ロタウイルスなどによる感染性胃腸炎など、さまざまな感染症が流行します。正しい知識を持って感染症対策をしていきましょう。



すぐできる！予防や備え

- 帰宅時や食事前などこまめな手洗い・手指消毒
- 適度な湿度(50～60%)
- こまめな換気
- 十分な休息とバランスの取れた食事
- 適度な運動
- マスクの着用
- 体調不良時に備えて、日ごろから解熱剤や日用品(ティッシュペーパーやビニール袋、数日分の食料、水分など)を用意しておく

体調が悪いと感じたら…

- 発熱などの症状があるときは、あらかじめかかりつけ医などに電話し、受診をしましょう。
- 外出は体調が良くなるまで控えましょう。また、医師の指示に従い休養しましょう。
- 家族がいる場合は、部屋を別室にしたり、世話をする人を決めて感染拡大を防ぎましょう。
- かかりつけ医がないなど、受診先でお困りの場合は、健康子育て課までご相談ください。

※土日祝日の場合は、

◆救急電話相談窓口 ☎# 7119

◆小児救急電話相談 ☎# 8000



セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第70号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

2023年度のセーフコミュニティの活動を報告します！

広報2月号に引き続き、委員の募集を行っております。興味がある方はご連絡をお願いいたします。「安全・安心なまち」を作るため、あなたのお力をお貸しください！

防災・減災対策委員会



開地地域防災研修会でアルファ米のアレンジレシピ紹介などを行いました。

交通安全対策委員会



都留文科大学周辺での反射材啓発パレードを行い、反射材をPRしました。

防犯対策委員会



都留文科大学でコミュニティカフェを開催し、学生の困りごとを聞きました。

高齢者の安全対策委員会



スーパーの店頭で、高齢者の生活の実情を聞くアンケート調査を行いました。

親と子の安全対策委員会



つるのもりマルシェ 2023 にブース出展し、委員会の活動や子育て支援制度などのPRを行いました。

心の健康対策委員会



メンタルヘルス対策に取り組むパートナーシップ企業を拡大するため、PRを行いました。

データから見る都留市の安全・安心 体感治安(まちを安全だと思う安心感)

本市が取り組みを始めた2018年から国際認証を取得した2021年を経て、本市の安全・安心を取り巻く状況は変化してきました。今回は、これまでに収集してきたデータの中から、まちの安全に対する意識「体感治安」についてご紹介します。

Q1. 都留市での暮らしは安全・安心だと思いますか？(市民意識調査)



「そう思う」「まあそうだと思う」と答えた人の割合が8.4%アップ

Q2. 都留市で暮らす中で不安に感じていることはありますか？(市民意識調査)

	2018年	2022年	前回比
交通事故によるけが	50.2%	37.0%	13.2% ↓
犯罪に巻き込まれる	40.0%	21.1%	18.9% ↓
病気や障がいなどで動けなくなる	64.5%	60.0%	4.5% ↓
自然災害に巻き込まれる	69.5%	52.8%	16.7% ↓

2018年に「不安に感じている」と答えた人が多かった項目も不安に感じている人が減少しました！